

**9 GRAN**

**PLECTRUM  
CONCERT**

1966. 8. 14 (日) 6.30 P.M.

岩 国 市 労 働 会 館

主催 岩国高校プレクトラムアンサンブルOB会

## 御 挨拶

秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞ驚かれぬる

立秋も過ぎ、朝夕はどことなく秋の気配も感ぜられるようになってまいりました今宵、皆様多数の御来場をいただきまして、ここに第9回定期演奏会を開催できましたことを、私達演奏者一同心から感謝しております。

平素、各自の仕事の余暇を見て、練習に励み、ここに一年間の成果を皆様方にお聞きいただけることにこの上ない喜びを感じております。練習時間の不足は未熟な技倆とあいまつて、心細さも覆い得ない実状ですが精一杯の演奏をすることにより、皆様方と共に雑事を忘れ、楽しいひとときをもつことができますれば、これに勝る幸はございません。

どうか最後までごゆつくりお聞き下さつて、明日への新しい希望と勇気をおみやげに、お持ち帰り下さいますよう。

末筆ながら、平素御援助いただいております岩国市教育委員会、又常に変わぬ同好の方々の御好意に厚く御礼申し上げます。

岩国高校プレクトラム・アンサンブルOB会

## 岩高プレクトラム・ソサエティ紹介

私達岩国高校プレクトラム・アンサンブルの卒業生は、高校時代熊谷幹雄先生からおそわつたマンドリン、ギターを通しての合奏の楽しさを、高校時代かぎり終らせたのでは余りにもつたないという気持ちから、ちょうど10年前卒業生だけで岩高プレクトラム・ソサエティというサークルを創り、高校時代に休得した心のハーモニーに結ばれた人間関係と、そこから自己の人格の向上を図ることを土台にして、プレクトラム音楽のもつ無限の芸術性を追求しております。すなわち、合奏においては、他人の性格と共同しなければならぬという制限の中で、自己の性格をいかに生かすかが大きな問題になってきます。オーケストラの個々のパートの個々の楽器が独特の音を保ちながら、全体として一つのムードを作り上げること、そして、いたずらにリリカルな感情を強調して、その曲の表現範囲を限定してしまうのではなく、感情以上のものをもつて、その曲の芸術性に本当の生命を与えなければならない。そういう大きな目標のもとに私達は仕事の余暇を見つけ、週一回（土曜）市中央公民館に集まり、厳しい練習を積み重ねながら、毎年夏に定期演奏会をもち、その年の成果を発表しているわけです。

先日の朝日新聞にも紹介されましたように、現在メンバーは200名をこえ、東京・関西・北九州にも支部をおき密接な連絡を保ちながら活動を続けております。

特に今回は母校のクラブへ部室を寄附しようという目的のため、常識的には極めて向うみずの計画かとは思いましたが、思いきつて有料で皆様に聴いていただくことにいたしました。

まだ歴史も浅く、つたない技術ではございますが、文化の中央集中化が問題になってきております昨今地方において、着々と活動を行っておりますこのサークルに、今後共同じ岩国市民としての皆様方の暖かい御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

時計・めがね専門店

ふ じ の

岩 国 駅 前 TEL. ② 1 8 8 8

# = PROGRAM =

司会 林 努

## 第一部 マンドリン・オリジナル

指揮 熊谷幹雄

- \* POESIA ALPESTRE ..... M. Salvetti Simone作曲
- \* 西域より ..... 川崎貞利 作曲
- \* MILENA ..... Mario Maciocchi 作曲
- \* Ouverture in H - moll ..... Konrad Wölki 作曲

## 第二部

指揮 山添修志

### 日本のメロディー

- \* 叱られて ..... 服部 正 編曲
- \* 日本抒情歌集 ..... 服部 正 編曲  
(ヤシの実、タヤケ小ヤケ、七つの子)

### ラテンへの招待

- \* Espania Cani ..... 服部 正 編曲
- \* Taboo ..... 山口吉雄 編曲
- \* マカレナの乙女 ..... 赤城 淳 編曲

## 第三部 クラシック

指揮 熊谷幹雄

- \* Eine Kleine Nachtmusik ..... W. A. Mozart 作曲
- \* 「バクダットの太守」序曲 ..... Fr. A. Boieldieu 作曲
- \* ORPHEUS ..... J. Offenbach 作曲

銘菓  
と  
喫茶

錦月堂



岩国駅前

TEL. ㊤ 3737

## 二 曲 目

### ◇ 山 嶽 詩

M. S. シモン 作曲

サルヴェティ・シモンはイタリアの作曲家で、彼の数ある作品の中でこの「山嶽詩」位に愛された曲はないでしょう。マンドリン系の楽器の魅力を十二分に活かしてオーヴァチュア形式で書かれたこの曲は、日本のブレクトラム団体のプログラムの中に必ず見出せることもその一つの現れだと思います。私達も亦御多聞にもれず、古くからのレパートリーの一つに加えております。この曲は山の壮厳、神秘を題材とした幻想的な音楽で序曲はト長調の雄大な主題が先ず強く奏され、やがてギターのアルペジオの伴奏に、主題は優美な、なごやかな形に変つて、神秘的な旋律が低音に現われ、更に転じて和声美に満ちたコーラルの部分になり、一転してアレグロの壮厳さに変わり再び曲はト長調の壮麗な主題を高唱して曲を結びます。

### ◇ 「西 域 よ り」

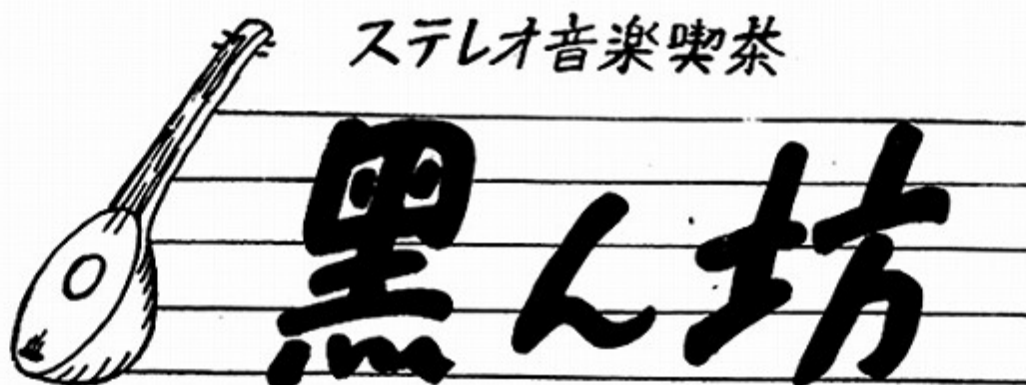
川 崎 貞 利 作 曲

マンドリン合奏のオリジナル曲で、作者が戦事中に中国滞在中の作品で、美しいメロディと非常にシンプルな形式とで構成され、弾いても聞いても楽しい曲とされております。

### ◇ ミ レーナ

マリオ・マチョツキ 作曲

マリオ・マチョツキは1874年ローマに生まれ、1955年パリでなくなつたマンドリン音楽の作曲家である。初め父よりギターを学び、後、聖セチリヤ音楽院に入り作曲をセタツチオーリに学び、1900年フランスに移住しブレクトラム音楽の普及、向上に努め、1907年マンドリン音楽誌「エステュディアンテナ」を発刊し、1914年には3冊のギター教則本を書き、マンドリンギター曲付は800曲も作つた彼の労作は、主として合奏の方に向けられ、代表作は「麦祭り」「嘆きの天使」「水車小屋の愛人達」がある。この「ミレーナ」とはジプシーの娘の名前で、ジプシー風のメロディに溢れたチャルダス曲であり、アンダンテに始まり途中からアレグロに入り最後にビバーチェで終る軽快な楽しさに充ちた曲である。





# 解 説 二

## ◇ 序曲第4番ロ短調

K. ヴェルキ 作曲

作曲家 K. ヴェルキは、1904年12月27日 ベルリンのLautengildeの創設者であり、又1948年以来ベルリンの国民音楽学校主事として活躍している。彼の作品は現在までにマンドリン合奏曲を中心に約60程あるがその中で、最も親しまれているのが20才の時に作曲された作品番号のマンドリンオーケストラのための第一序曲から始まって今回演奏する1927年に作曲された作品番号7の「序曲第4番ロ短調」までの4つの序曲である。又彼は、近作においてマンドリンオーケストラを伴うイ短調のヴァイオリンコンチエルトとか、マンドリンの一つの特色であるトレモロを使わない作品など、いろいろ新しいことを試みてマンドリン音楽に大きな貢献をなしている。

本曲は、通常のマンドリンオーケストラの編成（第一マンドリン、第二マンドリン、マンドラ、マンドチエロ、ギター、ベース或はマンドローネ）に加えて、管楽器（フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット）及び打楽器をとり入れ、更にアルミニウムを加えているが今回はフルート、クラリネットだけを編入しての演奏です。

曲はアレグロに始まり、最初歯切れのよいリズムをきざみ、軽快なメロディが次いで流れます。途中ギターのアルベジオに伴ってゆつたりしたアダージョの旋律を過ぎ、再びアレグロ部分が現われ、堂々たる全合奏の終曲となる重厚な曲です。

## ◇ 弦楽セレナータ

モーツァルト 作曲

モーツァルトの「セレナータ」のうちでは最も親しまれた曲で、1787年1月の歌劇の「フィガロの結婚」のブラークに於ける大成功にすっかり気を良くしたモーツァルトが、秋のシーズンに上演するために依頼された歌劇「ドン・ジョバンニ」の作曲に着手しつつあつたその年の夏に、ウィーンで書いたようです。

この曲は4楽章より成り、第1楽章アレグロ・ト長調、第2楽章ロマンツェ・アンダンテ・ハ長調、第3楽章メヌエット・アレグレット・ト長調、第4楽章 Rond. アレグロ・ト長調となつています。

なおこの度は時間のつごうで、第1楽章だけをお送りします。

日 本 観 光 旅 館

福 本 旅 館

岩 国 駅 前 TEL. ② 2 3 3 3

## ＝ 曲 目 解 説 ＝

### ◇「バグダットの太守」序曲

ボアイアルデイ 作曲

フランソア・アドリアン・ボアイアルデイは、19世紀のはじめ、フランスで活躍した喜劇作曲家で、豊かなメロディーと軽快さを持つた喜歌劇を数多く作曲し可成り人気を集めていた。この曲は、彼の出世作であり、歌劇そのものは今日では全く演奏されていないが、この序曲は今なおよく演奏されている。

曲は最初ゆるやかな序奏に入りマンドリンのカデンツアを経た後、ソナタ形式の軽快な主部に入る。なおこの曲はイタリーに生まれ、マンドリンの父ムニエルに師事した後フランスに渡つた、マンドリン作曲家マリオマチヨツキの手によつて、マンドリンオーケストラに編曲されている。

### ◇「天国と地獄」序曲

オツフエンパツハ 作曲

喜歌劇「天国と地獄」は、ギリシヤ神話に名高いオルフェウスとその妻、ユーリテイスの物語を喜劇風に取り扱つた愉快な全三幕からなるオペレッタで、1858年10月21日パリで初公演された。

コミカルな浮々するような、あの古き佳き時代をしのぼせるおなじみの躍動的な部分からなる楽しい曲である。

作曲者のオツフエンパツハはドイツに生まれ、フランスで活躍したオペレッタの作曲家で、その生涯に90曲ものオペレッタを作つたが、この「天国と地獄」と「ホフマン物語」がその代表とされている。

地 下 純 喫 茶

ブ ラ ジ ル

三笠橋バス停前

TEL. ㊦ 2470

# M E N B E R S

指揮 熊谷 幹雄  
司会 林 努

## 1st Mandoline

長島 啓	山添 修志	三浦 繁子	広田 松美
藤沢 幸昌	新井 義悠	十時 和子	岩見 豊子
村重 佳子	安食 久子		

## 2nd Mandoline

若松 一	大屋 光子	富永 祐子	中村 恭子
大江 恵子	松本 糸代	広兼 智之	米重 睦子
岡本 操	小西 麗子	中村 美智子	梅本 三重子
小山 ますみ	生田 房江	東 みどり	

## Mandola

富沢 元生	三浦 孔明	富永 勝之	小東 孝幸
倉重 明矩	高島 信人	山 中 富士雄	和久本 忠史
金沢 洋三	南郷 完慈	平井 伸子	

## Mando Cello

藤井 利和	榎田 好一	今北 文夫
-------	-------	-------

## Guitar

森脇 祥文	大原 恵子	穂鹿 恭悦	安原 政男
野坂 利雄	高島 雅雄	藤本 美佐枝	白木 恵子
村中 文子	河岡 二雄	吉岡 智子	藤井 聡子
藤井 寿一	二宮 宏治		

## Bass

村上 茂	中 隆幸	塩屋 浩二
------	------	-------

## Flute

松本 道子
-------

## Clarinet

石川 治久
-------

七周年記念内部改装

音楽とサンドウィッチパーラー

純喫茶 コ ナ

駅前 TEL. ② 0552

ハイセンスの店  
岩国高校指定店

靴 の ム ラ ト

駅前 TEL. ㊟ 1747

御写真

冷暖房・更衣室完備

くりはら あきら

TEL. ㊟ 3078

市役所前

ポーラ化粧品

岩国営業所

岩国駅前 村永ビル

TEL. ㊟ 2685

お肌をいためない 汗くずれしないマイクロケーキ  
御用命は是非 ポーラのセールスマンにどうぞ

おかし の

あ さ を

岩国新町

TEL. ㊟ 0995

紳士・婦人洋服と各種おしゃれ洋品

岩国 大

丸

駅前センター TEL. ㊟ 3158

Coffee

純喫茶

紫

苑

駅前 TEL. ㊟ 3530